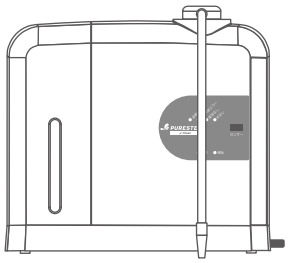
ピュアスター
PURESTER 微酸性電解水生成装置
μ-Clean ピュアスターミュークリーン



取　扱　説　明　書

1．はじめに ----------p. 2
2．梱包品リスト ----------p. 3
3．取扱責任者の選任、および限定 ----------p. 4
　取扱責任者の選任 …… p. 4
　取扱責任者の限定 …… p. 4
4．安全上のご注意 ----------p. 5
　設置に関して …… p. 5
　取扱いに関して …… p. 7
　操作に関して …… p. 8
　ピュアスター水に関して …… p. 9
　ミュークリーンメイト（薬液）に関して …… p. 11
　薬液に関わる応急処置 …… p. 13
5．ピュアスターの原理 ----------p. 14
6．各部の名称と機能 ----------p. 15
　各部の名称 …… p. 15
　操作パネルの名称 …… p. 16
　ランプ表示 …… p. 17
7．設置方法 ----------p. 20
　据え置きの場合 …… p. 20
　（オプション）壁掛けの場合 ……p. 20
　（オプション）ミューリモート（リモートコントローラー）をご使用の場合…p. 21
　（オプション）レベル制御用ミュー接続ケーブルをご使用の場合…p. 22
8．接続方法 ----------p. 23
　電源接続 …… p. 23
　用水接続 …… p. 23
　ミュークリーンメイト容器のセット方法……p. 24
9．運転方法 ----------p. 28
10．本体異常時の対処方法 ----------p. 30
　表示ランプが点灯した場合には …… p. 30
　こんな症状のときには ……p. 32
11．日常の保守管理---------- p. 33
12．ご使用にあたって---------- p. 36
13．仕様 ----------p. 37
14．アフターサービス ----------p. 40

1．はじめに

●この度は微酸性電解水生成装置「PURESTER　μ-Clean」（ピュアスター　ミュークリーン）をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

●ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

●「PURESTER」とは pureness（清浄、清潔）と sterilization（殺菌、消毒）との造語で、「ピュアスター」は登録商標です。

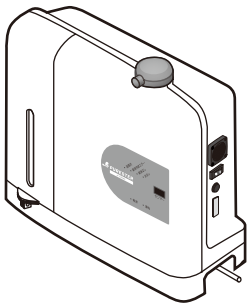
●本装置は、無隔膜の電解槽を使用しています。

●取扱説明書の中の「ピュアスター水」とは、本装置で生成した水「微酸性電解水」を示し、「ミュークリーンメイト」または「薬液」とは、所定濃度に調整された食品添加物用　塩酸を示します。

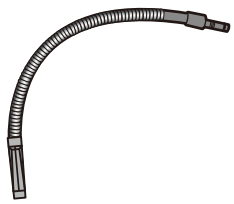
2．梱包品リスト

●開封時に梱包品の内容をご確認ください。

①本体



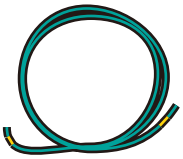
②吐出フレキホース
１本



③給水口フレキホース
［逆止弁、フィルタ内蔵］
（パッキン同梱）１本

④ミュークリーンメイト
容器アタッチメント
１個

⑤アース線　１本



⑥３Ｐ変換プラグ
１個

⑦クイックファスナ１０
１個

⑧塩素濃度試験紙
１箱※

⑨ｐＨ試 験 紙
１箱※

※塩素濃度試験及び pH 試験紙は各１箱同梱しております。使い切ってしまわれた場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

⑩取扱説明書　　１冊

⑪保証書

●別売り品（詳細につきましては販売店にご相談ください）

- 壁掛け金具　　１セット
- ミューリモート（リモートコントローラー）　　１セット
- レベル制御用ミュー接続ケーブル　　１セット

3．取扱責任者の選任、および限定

取扱責任者の選任

●ピュアスターは、希塩酸を電気分解して塩素ガスを発生させ、これを水に溶解して、微酸性の次亜塩素酸水を生成する装置です。

●従って、誤った操作や使い方をした場合、人体に危害がおよぶ可能性がありますので、必ず取扱責任者の選任をしてください。

取扱責任者の限定

●ピュアスターの取扱操作は、取扱責任者、およびその許可を得た者に限定してください。

4．安全上のご注意

●本装置を安全にご使用いただくために、次の警告と注意をよく読んで理解してください。

★表示説明

機械が大きく損傷したり、人が重傷を負ったり、 あるいは死亡したりする可能性があることを意味します。

機械が一部損傷したり、人が軽傷あるいは中傷を負ったりする可能性があることを意味します。

指示に従って実施してください。

設置に関して

●換気設備のない密閉した部屋に設置しないでください。運転中は、電気分解に伴い水素ガスが発生するため、水素ガスが爆発する危険性があります。換気設備のある場所または、風通しの良い場所に設置してください。

●火気のある場所、気温が 35℃以上になる場所、埃や油滴の発生する場所及び水のかかる場所に設置しないでください。

●凍結する恐れのある場所に設置しないでください。

●ピュアスター水出口配管側にバルブ等、流れを止めるものは設置しないでください。

●ピュアスターは先止め出来ません。

●アース設置工事は電気設備技術基準等関連法令及び規則等に従い必ず電気工事士の資格のある人が D 種接地工事を行ってください。

●アース付コンセントがある場合はそのまま差し込んでください。

●アース付コンセントでない場合は梱包品の 3P 変換プラグを電源プラグに付けてコンセントに差し込み、そのうえで 3P 変換プラグのアースをとってください。

●変換プラグからアースがとれない場合には梱包品のアース線を使い本体から直接アースを取ってください。

●接続条件や供給水圧によっては、原水入口側に調整装置等の取付が必要な場合があります

注　意

●貯水タンク等関連設備の設置は、直射日光を避け換気良好な場所に据え付けてください。

●屋外に設置しないでください。

●湿度の高い場所に設置しないでください。（湿度85% 以下、ただし結露なきこと）

●原水は水道水「水道法（昭和 32 年法律第 177 号）第 4 条第 2 項の規定に基く「水質基準に関する省令」（平成 15 年厚生労働省第 101 号）に適合」または、飲料水基準を満たした井戸水等を使用ください。原水のpH、硬度によっては規定の電解水水質から外れる場合があります。

●原水は流量が 300L/hr±15% 以上で、元圧が 0.1MPa ～ 0.5MPa 必要です。

●出口側には 0.03ＭＰａ以上の水圧を掛けないでください。ピュアスターが故障することがあります。

●原水温度は、原則として 3℃～ 40℃の範囲でご使用ください。

●据置きでご使用の場合は、安定した台の上に、水平に設置してください。

●本体を壁にかけてご使用の場合は専用の壁掛け金具を使用し、必ず販売店・工務店に設置を依頼してください。ご自分で設置すると落下など思わぬ事故の原因となりますのでご注意ください。

●ミュークリーンメイトの容器は、しっかりと固定してください。

●出口にホース等つけて延長しないでください（オプション使用時の仕様につきましては、各オプションの取扱説明書をご参照いただくか、販売店にお問合せください）。

●装置本体に付属の吐出フレキホース以外は使用しないでください（オプション使用時の仕様につきましては、各オプションの取扱説明書をご参照いただくか、販売店にお問合せください）。

●設置後に装置を移動する場合は設置した業者にご依頼ください。

取扱いに関して

警　告

●本体を誤って水中に落とした場合、感電の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜き、本体を引き上げ、販売店に修理を依頼するように説明してください。

●電源プラグに付いたほこり・ゴミは、プラグをコンセントから必ず抜いた後、乾いた布などで取り除いてください。電源プラグにほこりがたまると、絶縁不良をおこし、火災の原因となります。

●電源プラグはコンセントに根元まで差込んでください。差込みが不十分だと感電や火災の原因となります。

●装置稼動時は、取扱い者が必ず管理を行ってください。（無人時に装置を稼動させないでください。）

●使用終了後は必ず電源を切り、給水口バルブ（蛇口等）を閉じてください。

●停電時は、通電再開に備え装置本体の電源プラグを抜いてください。

注　意

●装置のお手入れをする場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。

●交流 100V 以外の電源では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

●電源コード・プラグを損傷するようなことはしないでください。（釘等での固定、加工、傷つける、無理な曲げ、ねじり、引っ張り、熱源との接触、重いものを載せる、束ね、はさみ込み等をしない。）

●コンセントから電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。

●電源コード・プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電、火災、ショートの原因となります。

●電源コード・プラグの修理は販売店に修理を依頼してください。

●たこ足配線はしないでください。

操作に関して

警　告	●塩素臭（異臭）を感じたら運転を停止し、すぐに現場を離れて販売店に連絡してください。 ●運転中および電解水使用中は、室内の換気を行ってください。 ●装置からの水漏れがあれば、使用しないでください。 ●濡れた手で操作しないでください。 ●むやみにジョイント部を緩めたり、装置を分解したりしないでください。
注　意	●装置を長期間使用しない場合は、装置内のミュークリーンメイトを完全に水で置換（塩酸抜き）してください。置換方法につきましては、販売店にご相談ください。

ピュアスター水に関して

警　告	●ピュアスター水には、なにも添加しないでください。特に、他の薬剤と混ぜると塩素ガスが発生し危険です。 ●ピュアスター水の温度を 40℃以上にして使用しないでください。 ●ピュアスター水を直接、密閉空間に引き込んで使用しないでください。
注　意	●ピュアスター水は、飲用しないでください。 ●食品の原料水として使用しないでください。 ●皮膚が敏感な人や、皮膚に刺激症状や過敏症（発疹・掻痒感等）が現れる場合は、手荒れ又は肌荒れを手袋等で防止する措置をとってください。 ●ピュアスター水は、オーバーフロー、流水下等の方法で使用してください。

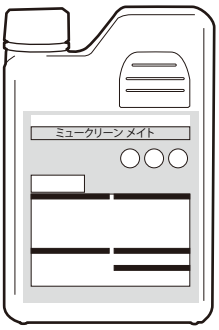
ピュアスター水を一旦タンクまたは容器に受けて使用する場合

警　告	●タンクのヘッドスペースは通気を良くするか、 強制排気してください。塩素ガスが滞留し錆びる可能性があります。 ●貯水している容器又はタンク中には、空気の比重より重い塩素ガスが滞留しやすいので、容器又はタンクの中を直接のぞき込むときには十分注意をしてください。 ●貯水している容器又はタンクの中に、火気を近づけないでください。
注　意	●ピュアスター水貯水タンクは、PVC、PE、FRP 材質のタンクを使用してください。 ●ピュアスター水の配管材質は、PVC を使用してください。ステンレスを使用する場合には、腐食の可能性がありますので、十分ご注意ください。 ●ピュアスター水は、有機物との接触により急速に失活する為、貯水タンク及び搬送容器等は、常に内部をよく洗浄してください。 ●洗浄器具、シンク等は使用後、金属の部分を水道水で洗い流し、雑巾等でふきとってください。 ●ピュアスター水の保存性は、遮光密閉した状態で約 1 ヶ月程度（効力約 80%）あります。しかし、開放した状態で光に当たると保存性が極端に低下するので、ご注意ください。 ●容器・タンク等に貯めてご使用の場合には、所定の pH、有効塩素濃度を確認の上、使用ください。

※ピュアスター水充填品は食品添加物として販売できません。

ミュークリーンメイト（薬液）に関して

●薬液のご購入は、販売店にご用命ください。



ピュアスターミュークリーン専用
食品添加物
「ミュークリーン メイト」
容量　１リットル

警　告	●強い腐食性があります。 ●皮膚に付着すると酸成分により、やけど・炎症をおこすおそれがあります。 ●飲んだり吸入したりすると、酸成分により、炎症・障害をおこすおそれがあります。 ●他の薬剤と混合しないでください。特にアルカリ系洗剤、アルカリ系漂白剤および酸性洗剤との混合は危険です。 ●目に入ると、酸成分により、失明や視力低下をおこすおそれがあり、危険です。 ●用途外に使用しないでください。

注　意

●純正のミュークリーンメイトをご使用ください。
ミュークリーンメイト以外を使用した場合は、本体の正常な稼働の保証は出来ません。

●取扱の際には、保護眼鏡（保護面）、ゴム手袋を着用し、必要に応じゴム長靴、ゴム衣を着用して薬液がかからない様に注意してください。又、取扱後は必ず手を洗ってください。

●ミュークリーンメイトの使用期限は、未開封で 1 年ありますが、早めにご使用ください。

●ミュークリーンメイトをこぼすと周囲の金属類を錆びさせます。こぼした場合には、水で流すか、十分拭き取ってください。

●本品を他の容器に小分け又は移し換えて使用しないでください。

●空容器には他の物質を入れないでください。

●空容器は水道水でよく洗ってから処分してください。

●ガスの発生がありますので十分な換気の下で取り扱ってください。

●床や器具にこぼれた時は、十分に洗い流してください。

●直射日光を避けて保管してください。

●運搬に当たっては、破損して本品が漏れ出ないように注意して取り扱ってください。

●空容器の廃棄は各自治体の廃棄方法に従って処理してください。

重　要

薬液に関わる応急処置

●以下の状況となった場合は、ここに書かれている応急処置を施した後、速やかに医師の手当を受けてください。

■皮膚に付着した時

直ちに付着部あるいは接触部を多量の水で十分に洗い流してください。

■衣類や靴に付着した時

汚染された衣類や靴を速やかに脱いで多量の水で洗い流してください。アルカリ液で酸を中和しようとしてはいけません。

■目に入った時

目を擦らないで直ちに流水で１５分間以上洗い流してください。

■飲み込んだ場合

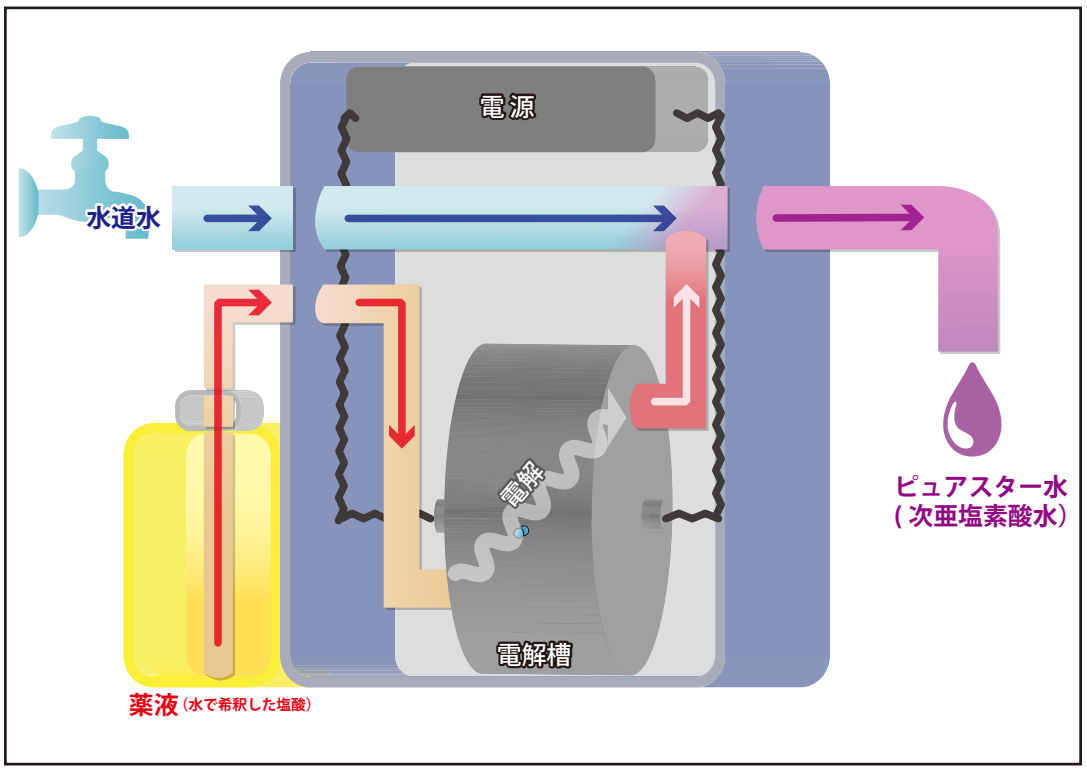
無理に吐かせようとせず（自然に吐出すのはかまいません。）出来るだけ多量の水を飲ませるか、牛乳や生卵を飲ませる処置をしてください。

■ガスを吸入した場合

直ちに安静にさせ、新鮮な空気の場所に移し、出来れば酸素吸入を行ってください。意識の無い場合は、口から何も与えず、至急医師の手当を受けてください。

5．ピュアスターの原理

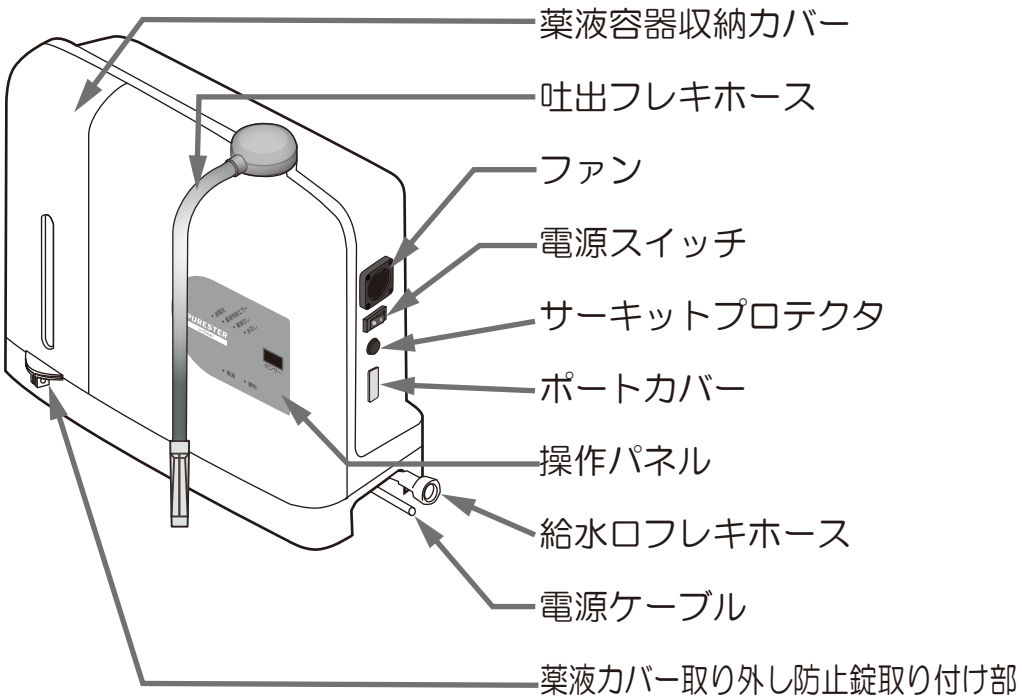
●ピュアスターは、無隔膜の電解槽で希塩酸を電気分解して、陽極で発生した塩素ガスを水に溶解し、全体を適正な濃度に水で希釈して微酸性の次亜塩素酸水（微酸性電解水）を生成する装置です。



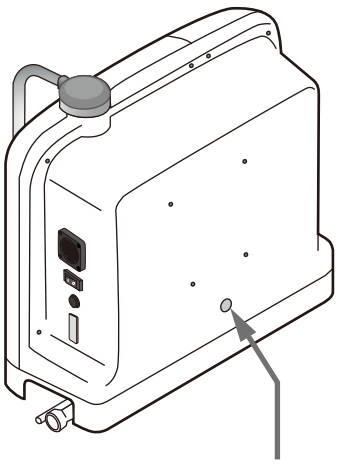
6．各部の名称と機能

各部の名称

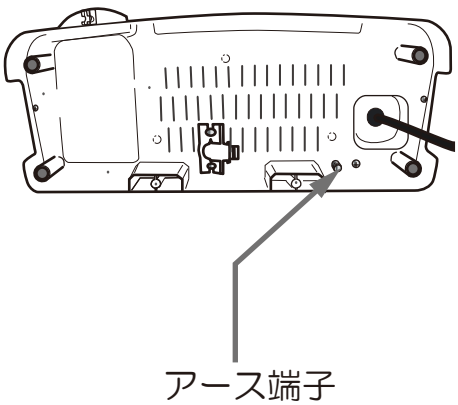
●正面



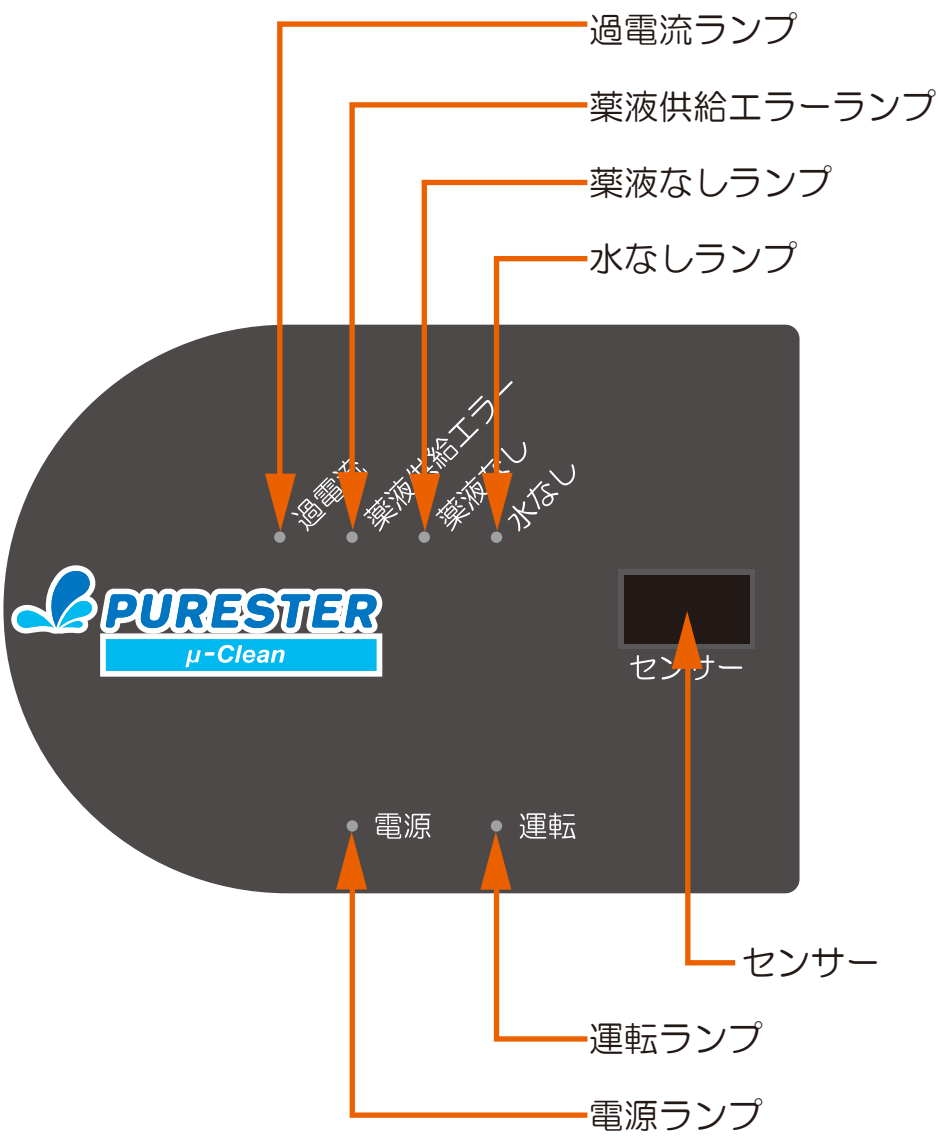
●背面



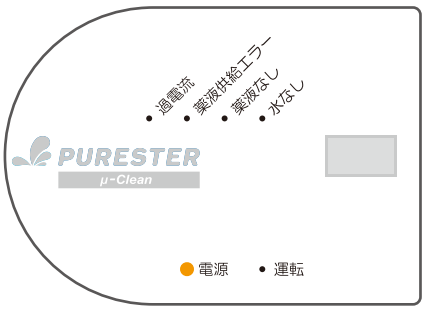
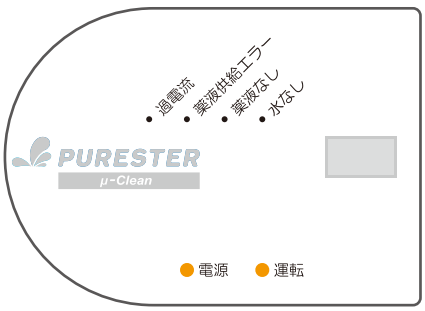
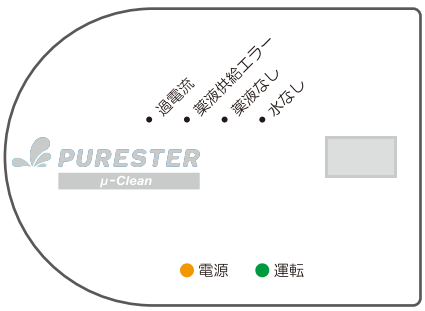
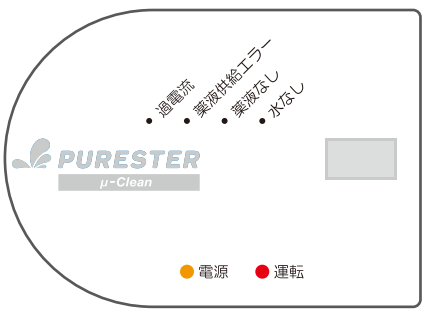
●底面



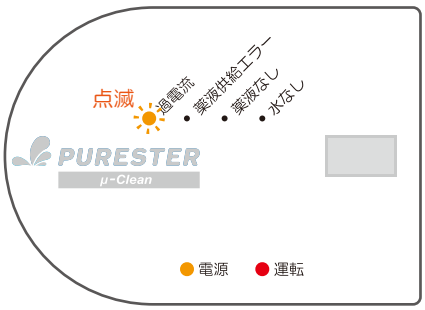
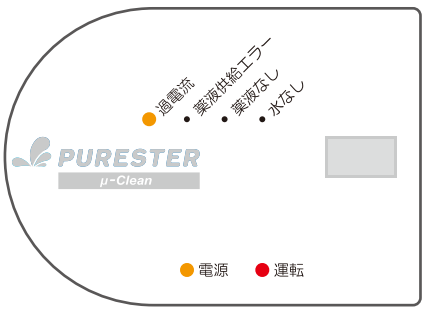
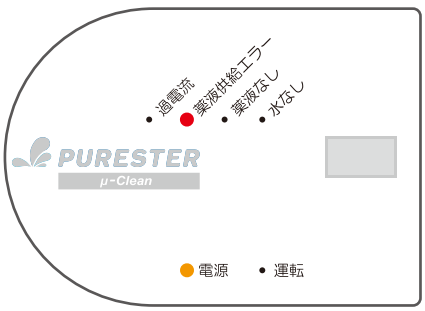
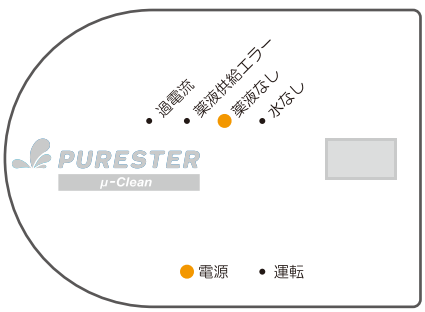
操作パネルの名称


過電流ランプ
薬液供給エラーランプ
薬液なしランプ
水なしランプ
過電流
薬液供給エラー
薬液なし
水なし
PURESTER
μ-Clean
センサー
電源
運転
センサー
運転ランプ
電源ランプ

ランプ表示

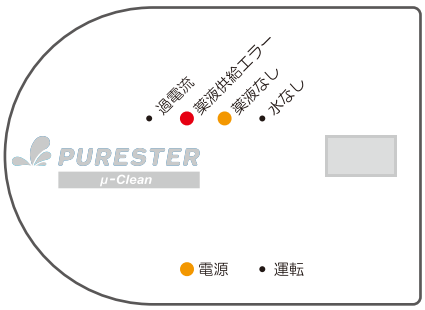
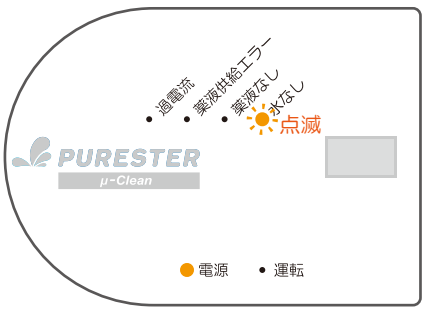
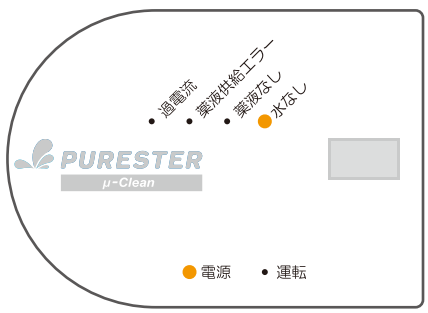
・無点灯 ●●● 点灯 点滅 点滅	警報	装置の状態	
	なし	停止	電源スイッチON状態
	なし	運転中	低電流状態
	なし	運転中	正常運転
	なし	運転中	過電流状態

※警報は、発生後 5 秒後に停止します

・無点灯　●●● 点灯　点滅 点滅	警報	装置の状態
	ピーッ ピーッ 断続音	運転中 過電流状態 対処方法 p.28 エラー No.1
	ピーーー 連続音	停止 過電流状態 対処方法 p.28 エラー No.2
	ピーーー 連続音	停止 薬液ポンプが過剰に動いたとき 対処方法 p.28 エラー No.3
	ピーーー 連続音	停止 薬液がない状態 対処方法 p.28 エラー No.3

名称と機能

※警報は、発生後 5 秒後に停止します

・無点灯　●●● 点灯　点滅 点滅	警報	装置の状態	
	なし	停止	薬液ポンプ故障 対処方法 p.29 エラー No.5
	なし	運転中	水なし状態 運転開始から 2 秒まで
			水不足状態 運転開始から 2 秒～ 5 秒まで
	ピーッ ピーッ 断続音	停止	水なし状態 運転開始から 2 秒間は見逃します 対処方法 p.29 エラー No.6
	ピーーー 連続音	停止	水なし状態 運転開始から 2 秒間は見逃します 対処方法 p.29 エラー No.7

7．設置方法

●お客様のご利用状況により設置方法をお選びいただけます。

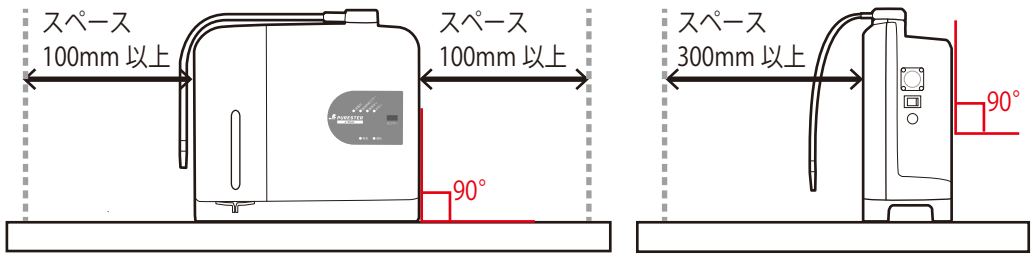
据え置きの場合

●安定した台の上に、水平に設置してください。

●薬液容器を収納する左側面は 100mm 以上のスペースを確保してください。

●電源スイッチ及びファンが取付けられている右側面には 100mm 以上のスペースを確保してください。

●本体正面の 300mm 以内には物を置かないでください。

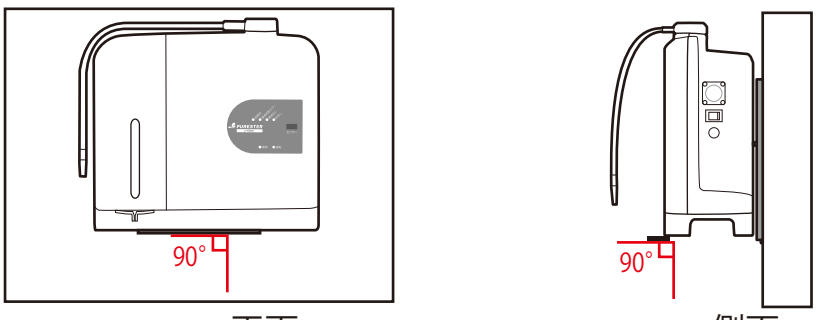


正面　　側面

（オプション）壁掛けの場合

●壁掛け用のアタッチメントが別途必要です。

●壁掛けで使用する場合は、必ず販売店に設置をご依頼ください。ご自分で設置された場合、落下事故など思わぬ事故の原因となりますのでご注意ください。



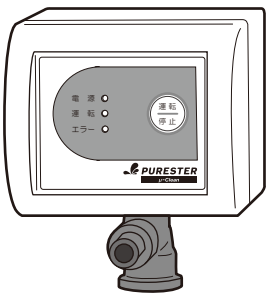
正面　　側面

（オプション）ミューリモート（リモートコントローラー）をご使用の場合

●オプションのミューリモートと装置本体を接続（ケーブル長 3m）することにより装置本体のリモート操作が可能です。

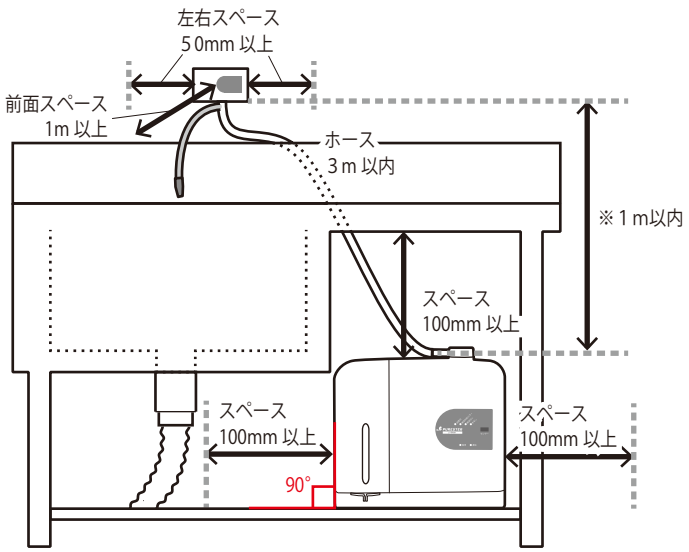
本機により、使用箇所から離れた場所に装置本体を設置でき、例えば設置場所が狭く装置が設置できない場合でも微酸性電解水をご利用できるようになります。

詳細は販売店にご相談ください。



外部制御用装置
ミューリモート

●ミューリモートをご使用の場合は、必ず販売店に設置をご依頼ください。ご自分で設置された場合、装置の故障･不具合、吐出不良や落下事故など思わぬ事故の原因となりますのでご注意ください。



※装置本体のホース継ぎ手取り付け位置からコントローラー側の吐出フレキホース取り付け位置までの差を１m以内にしてください。

（オプション）レベル制御用ミュー接続ケーブルをご使用の場合

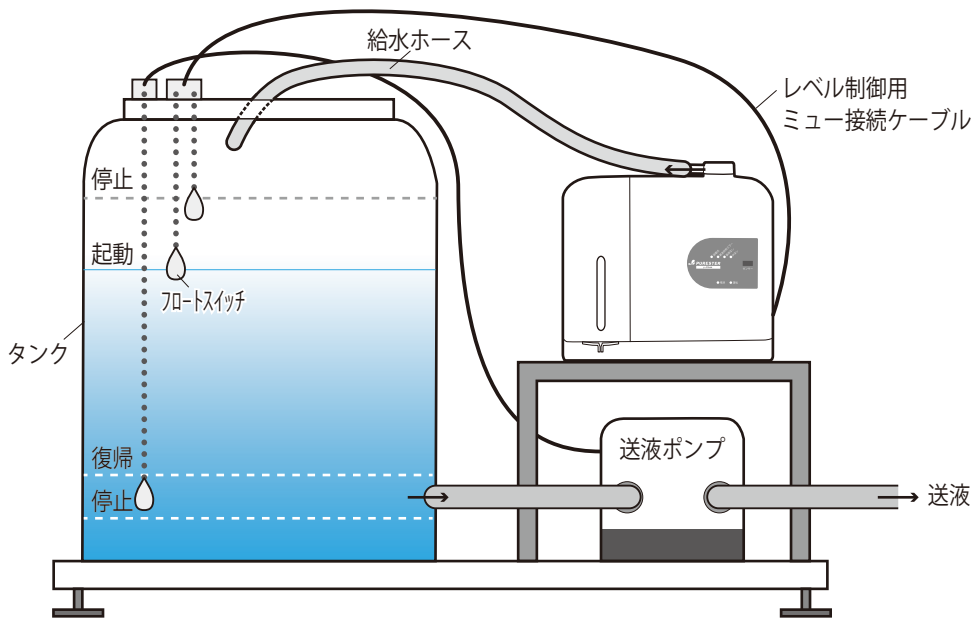
●オプションのレベル制御用ミュー接続ケーブルと装置本体を接続（ケーブル長 3m）することにより、微酸性電解水をタンクに貯水し液面レベルにより装置本体を自動制御することが可能です。

本機により、例えば装置 1 台で複数箇所に微酸性電解水を送水し利用できるようになります。（※複数箇所に送水する為には別途工事が必要となります。）

詳細は販売店にご相談ください。

●レベル制御用ミュー接続ケーブルをご使用の場合は、必ず販売店に設置をご依頼ください。ご自分で設置された場合、装置の故障・不具合、吐出不良や落下事故など思わぬ事故の原因となりますのでご注意ください。

設置例



8．接続方法

電源接続

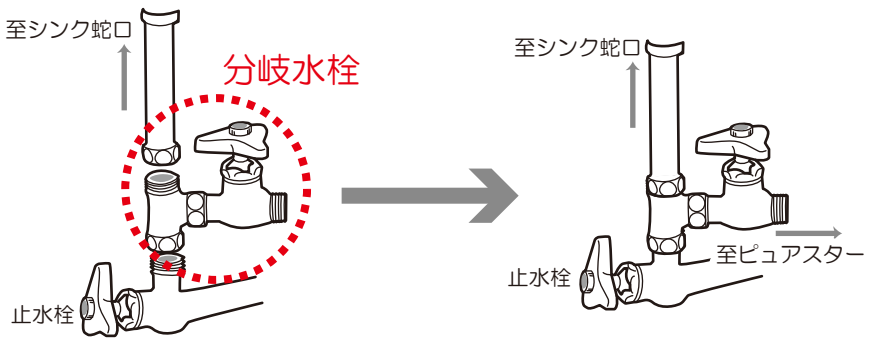
●ＡＣ１００Ｖ（単相）コンセントに電源コードを接続してアース線をとりつけてください。

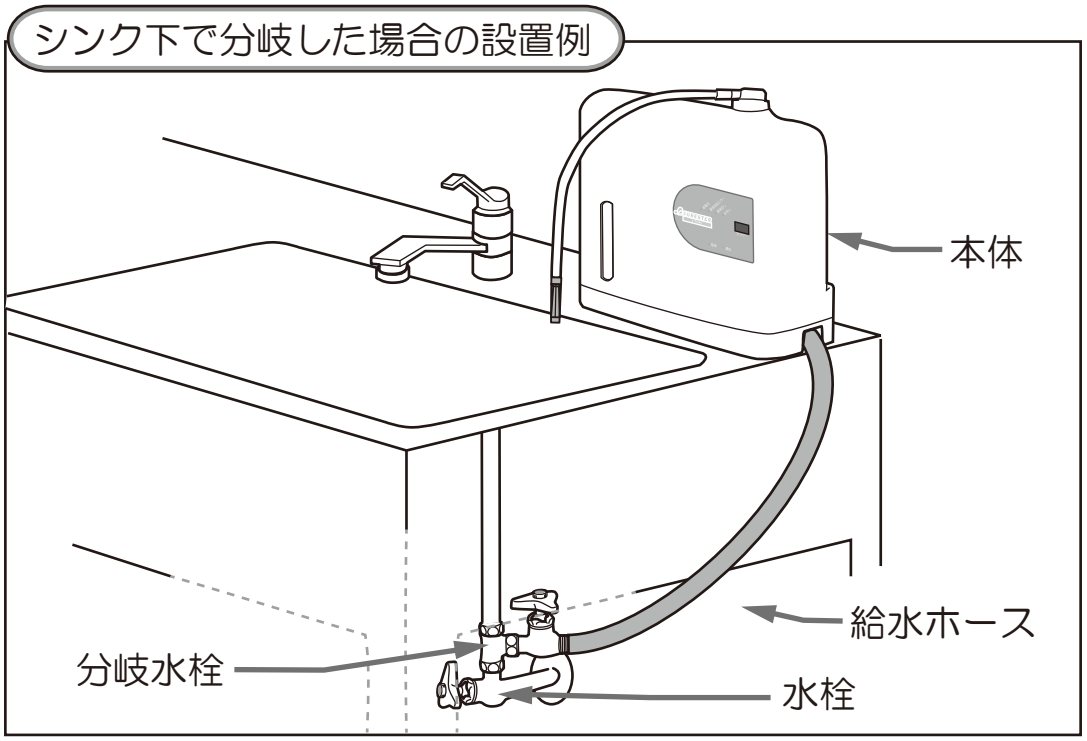
●消費電力　１５０Ｗ

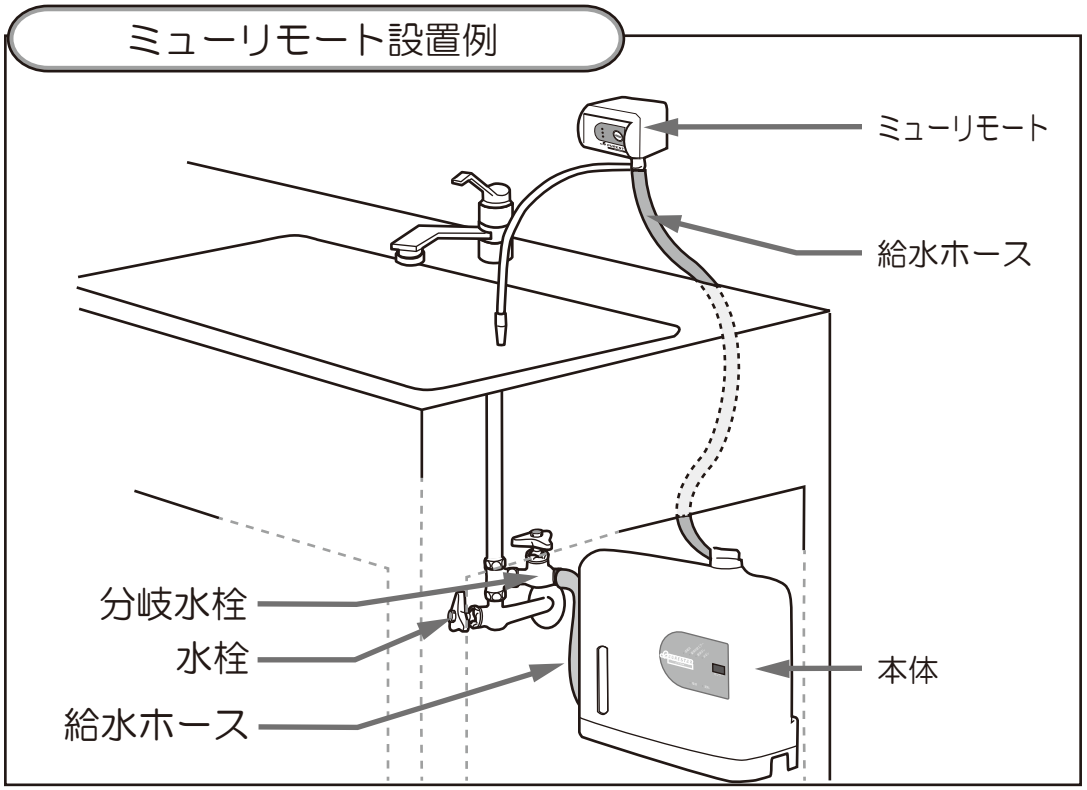
用水接続

●水栓に合った分岐水栓を取付けることが可能です。販売店にご相談ください。

●分岐水栓の取付け例

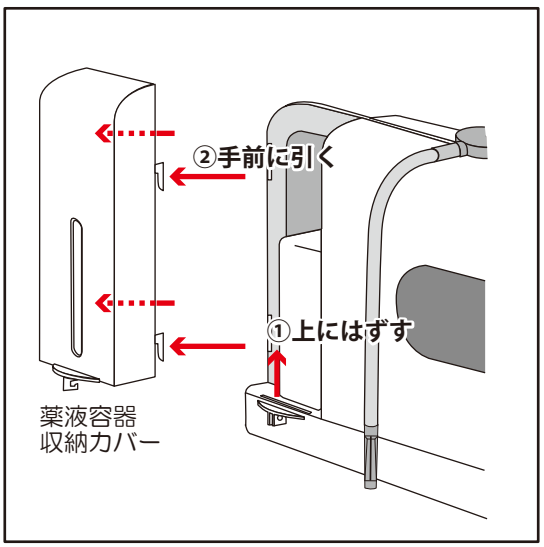



シンク下で分岐した場合の設置例
本体
給水ホース
分岐水栓
水栓

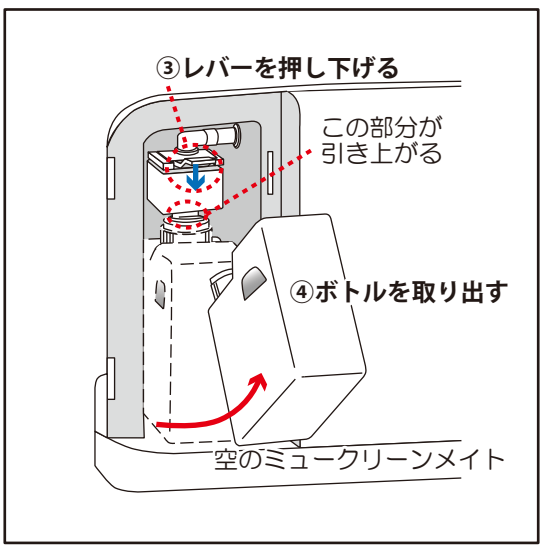

ミューリモート設置例
ミューリモート
給水ホース
分岐水栓
水栓
給水ホース
本体

ミュークリーンメイト容器のセット方法

①②左前にある薬液容器収納カバーを装置本体からはずします。

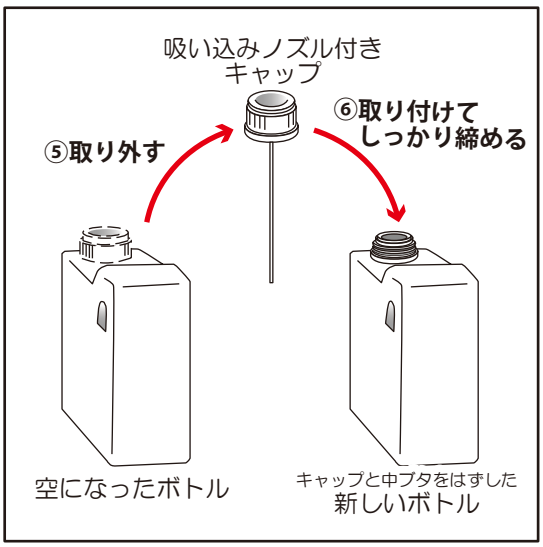


③④レバーを押し下げ、空のミュークリーンメイトを取り出します

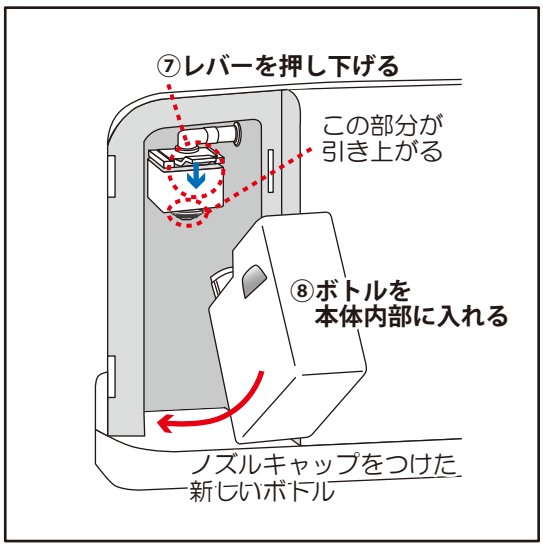


●新しいミュークリーンメイトのボトルキャップと中フタをはずしておきます。

⑤⑥空のボトルから吸い込みノズル付きキャップをはずし、新しいボトルに取り付け、良く締めます



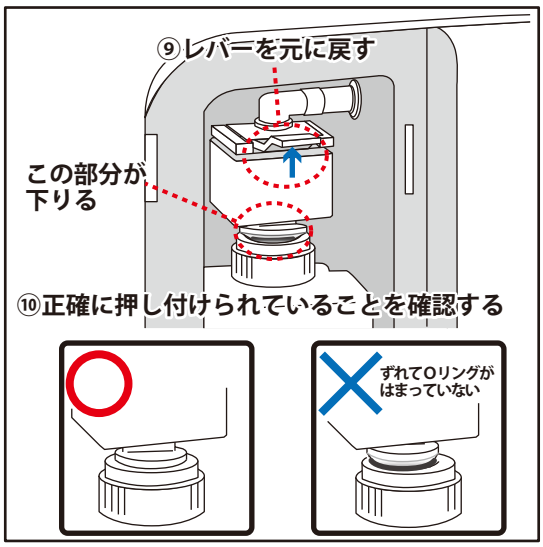
⑦⑧レバーを押し下げ、ボトルを本体内部に入れます。



注　意

●容器を掴むときは、キャップから薬液が飛び出す可能性がありますので、強く掴まないように注意してください。

⑨⑩レバーを元に戻し、接続部が正しく押し付けられている事を確認します。



注　意

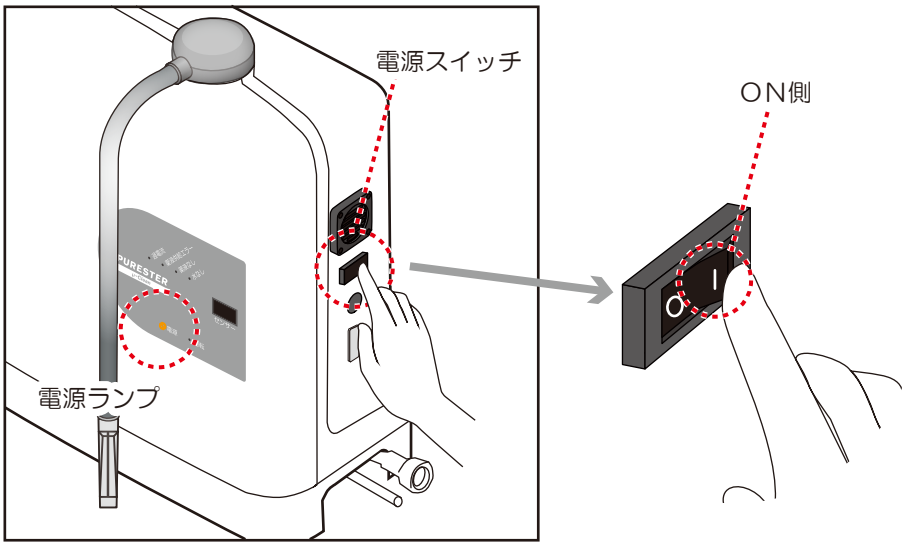
●本薬液を金属部分にこぼした場合、錆の原因となります。こぼした場合は、濡れたぞうきん等で良くふき取ってください。また、この時使用したぞうきんは水で良くすすいでください。

重　要

●接続部に隙間があると、薬液を吸い込まなくなります。隙間がないことを確認してください。

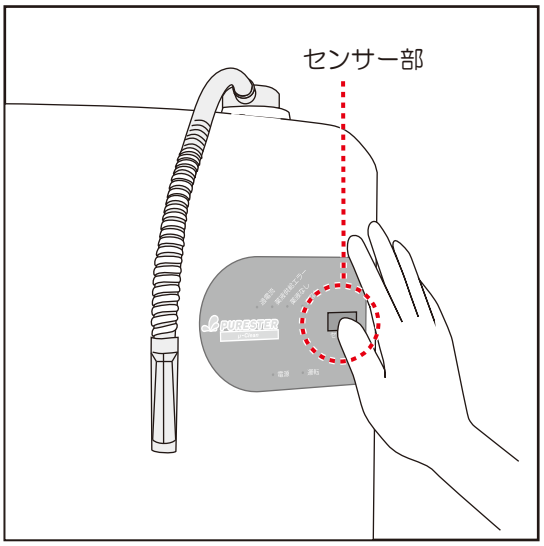
9．運転方法

1．電源スイッチを押してください。電源ランプが点灯します。

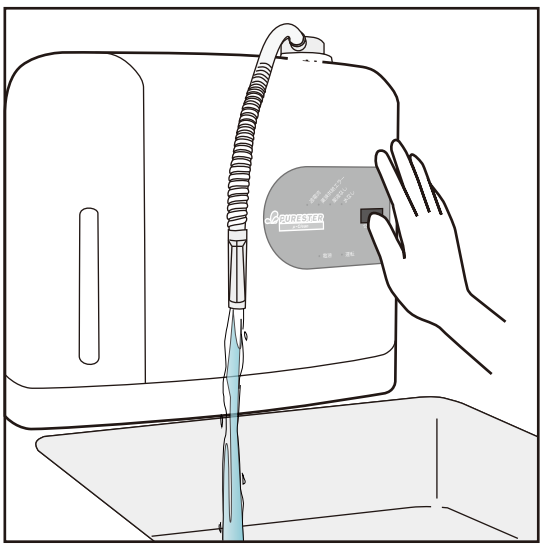


2．給水栓を開いてください。

3．センサー部に手をかざしてください。



ノズルの先端よりピュアスター水が出てきます。



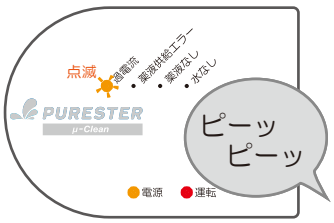
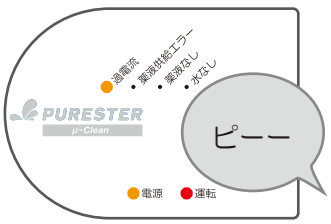
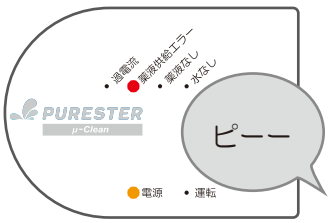
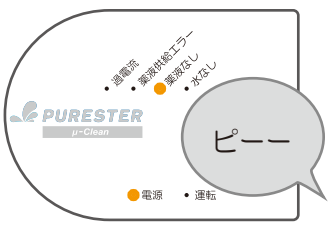
4．再度センサーに手をかざすと停止します。

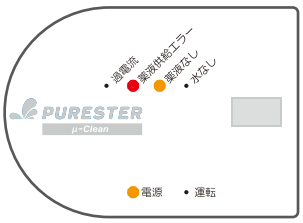
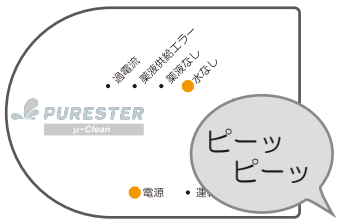
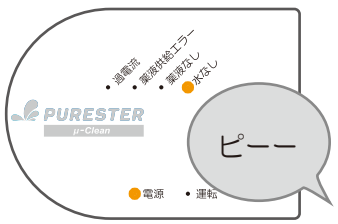
重　要

●設定により、タイマーで停止させることができます。
設定をご希望される場合販売店にご相談ください。

10. 本体異常時の対処方法

表示ランプが点灯した場合には

エラーNo.	症状	●原因　★対処方法
1	・過電流ランプ点滅 ・警報：断続音 	●薬液が過剰に入った場合に発生します。 ★しばらく運転を行ってください。 ※警報が解消されない場合は販売店まで連絡してください。
2	・過電流ランプ点灯 ・警報：連続音 	●電解電流回路が故障した場合に発生します。 ★販売店まで連絡してください。
3	・薬液供給エラーランプ点灯 ・警報：連続音 	●薬液ポンプが過剰に動いた場合に発生します。 ★薬液がなくなっている場合がありますので、薬液を確認してください。 ★室温が低い場合に発生する場合があります。再度運転を行ってください。 ※薬液供給エラーが頻発する場合は販売店まで連絡してください。電解槽の寿命および装置の故障が考えられます。
4	・薬液なしランプ点灯 ・警報：連続音 	●薬液が不足しているときに発生します。 ★薬液容器のセットが正しく行われているか確認してください。アタッチメントに隙間があると薬液を吸わなくなります。 ★薬液の残量を確認してください。 ※セット方法、薬液残量に問題がない場合、薬液ポンプ故障が考えられます。販売店まで連絡してください。

エラーNo.	症状	●原因　★対処方法
5	・薬液供給エラーランプ、薬液なしランプ点灯 	●薬液ポンプが故障したときに発生します。 ★販売店まで連絡してください。
6	・水なしランプ点灯 ・警報：断続音 	●装置に供給される流量が７５Ｌ／時間以下のときに発生します。 ★蛇口が開いているか確認してください。 ★供給ホースが折れている場合は伸ばしてください。 ★ストレーナが詰まっている場合があります。ストレーナを点検してください。 ※供給水量、ストレーナに問題がない場合、装置内の故障が考えられます。販売店まで連絡してください。
7	・水なしランプ点灯 ・警報：連続音 	●装置に供給される流量が７５Ｌ／時間以上１５０Ｌ／時間未満のときに発生します。 ★蛇口をさらに開いてください。 ★ストレーナが詰まっている場合があります。ストレーナを点検してください。 ※供給水量、ストレーナに問題がない場合、装置内の故障が考えられます。販売店まで連絡してください。

こんな症状のときには

症状	●原因　★対処方法
センサーに手をかざしても水がでてこない。	●電源が入っていないことが考えられます。 ★装置に電源が入っているかどうか確認してください。 ●センサーの故障が考えられます。 ★電源ランプが点灯しているにもかかわらず、運転ランプが点灯しない場合はセンサーの故障が考えられます。販売店まで連絡してください。 ●リモートコントローラー、レベル制御ケーブル接続時はセンサーは使えません。
流量が多くなった。	●装置内の減圧弁故障が考えられます。 ★販売店まで連絡してください。
水が漏れている。	●ホース接続部に緩みがあることが考えられます。 ★ホース接続部に緩みがないか確認してください。緩んでいる場合は、さらに締めてください。 ※装置内部から漏れている場合 ★本体前面カバーを開けて漏れている部分を確認の上、販売店まで連絡してください。
有効塩素濃度が高くなった。	●供給水量が少なくなったことが考えられます。 ★水量およびストレーナを確認してください。
有効塩素濃度が低くなった。	●供給水量が多くなったことが考えられます。 ★水量を確認してください。 ※供給水量に問題がない場合、電解槽の寿命が考えられます。販売店まで連絡してください。
ｐＨが高く（中性側）なった。	●供給水量が多くなったことが考えられます。 ★水量を確認してください。
ｐＨが低く（酸性側）なった。	●供給水量が少なくなったことが考えられます。 ★水量およびストレーナを確認してください。 ※供給水量に問題がない場合、電解槽の性能低下が考えられます。販売店まで連絡してください。
装置が錆びてきた。	●薬液漏れが考えられます。 ★接続部分に緩みがないか確認してください。薬液が漏れたままになっていると錆びてきます。漏れた場合は濡れ雑巾等で拭き取って水で洗ってください。 ●結露により錆びることがあります。 ★設置されている環境の湿度、蒸気などを調べてください。詳細は販売店までご相談ください。
異臭がしたら	●ピュアスター水の塩素濃度と pH が下がっていることが考えられます。または、装置からガスが漏れていることが考えられます。 ★使用を中止して、至急販売店まで連絡してください。

11. 日常の保守管理

●日常の保守管理として、次の項目の確認をお願いします。

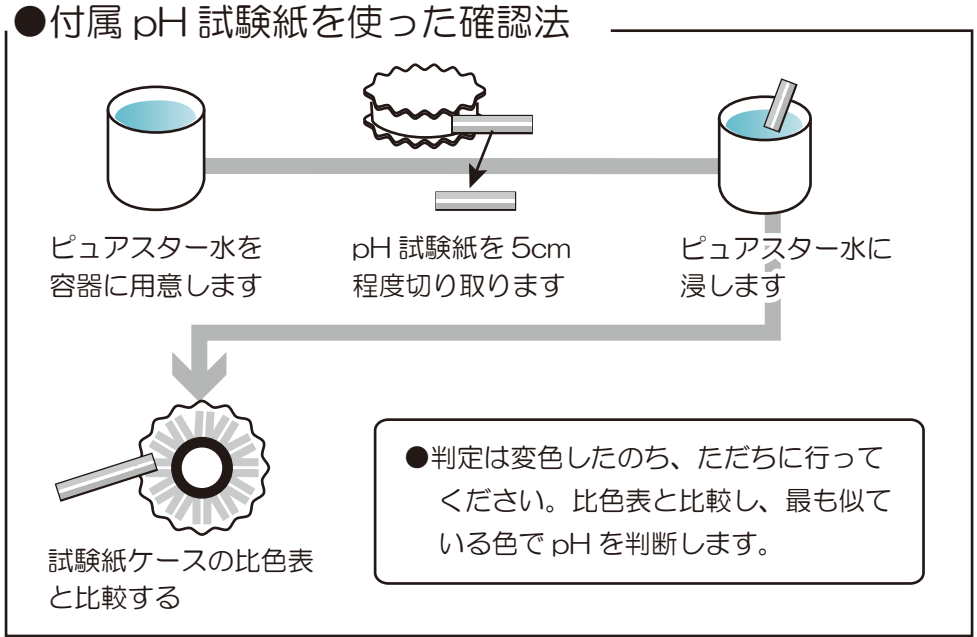
ｐＨ値の確認

●ピュアスター水の pH 値は毎日、使用開始時、所定の値である事を確認してください。（JISK0101 に従う。）

●付属品として pH 試験紙があります。pH 試験紙は、正常なピュアスター水が製造されているかの簡易判断基準としてご使用ください。

●正常なピュアスター水であれば、pH 試験紙の色が pH5.0 ～ 6.5 の範囲となります。

●付属 pH 試験紙を使った確認法



※試験紙は高温多湿を避け、風通しの良い冷暗所で保管してください。
※ご使用開始後、なるべく早く使い切るようにしてください。
※試験紙の購入は販売店にご連絡ください。

有効塩素濃度の確認

●ピュアスター水の有効塩素濃度は毎日、使用開始時、所定の濃度である事を確認してください。

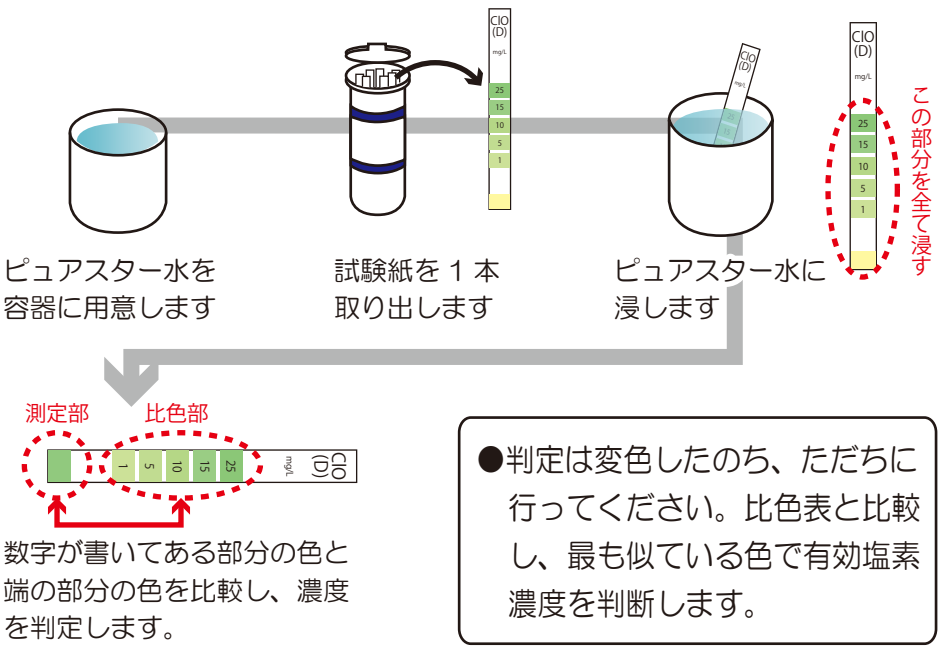
●測定した値については、測定者・日時等を記載し記録　　として保管してください。

●有効塩素濃度の測定方法は、（ａ）簡易法、（ｂ）公定法があります。

（ａ）簡易法

付属品として分析用試験紙（残留塩素低濃度用）があります。分析用試験紙は、正常なピュアスター水が製造されているかの簡易判断基準（簡易法）としてご使用ください。

●付属分析用試験紙を使った確認法



※試験紙は有効期限以内のものを使用してください。その他、箱書きの指示に従ってご使用ください。

※試験紙の購入は販売店にご連絡ください。

（b）公定法

●公定法は、チオ硫酸ナトリウム標準液によるヨウ素滴定法です。

●ヨウ素滴定法を使った確認法

［試薬類］
・0.01mol/L　滴定用チオ硫酸ナトリウム規定液溶液
（調整市販品でも劣化するため開封後は３ヶ月以内に使用してください）
・ヨウ化カリウム（試薬特級）
・酢酸（水で半分に薄め、長期保存時は褐色ビンに入れてください）
・可溶性澱粉（お湯 100mL に約１ｇの澱粉を溶かし、長期保存時は防腐剤をいれてください）

［器具類］
・ビュレット、またはピペットかシリンジ（20mL 容）
・300、または 500mL 容三角フラスコ
・スポイト２ヶ（酢酸専用、澱粉液専用）
・200mL メスシリンダー

［操作手順］
1. 200mL メスシリンダーでピュアスター水 200mL を量りとります。
2. 量りとったピュアスター水を三角フラスコに移します。
3. ヨウ化カリウムを 100mg 以上入れます。（→液が黄色くなります）
4. 酢酸溶液を１スポイト（約１ｍＬ）入れます。
5. フラスコを回して混ぜます。
6. ビュレットに 0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム溶液を入れます。このとき、液面の読みを記録してください …［ a ］ml
7. 滴定を開始します。ビュレットのコックを徐々に開き、フラスコに滴下していきます。フラスコは常に撹拌してください。（→液の黄色がだんだん薄くなります。）
8. かなり薄くなったら、澱粉液を１スポイト（約１ｍＬ）入れて混ぜます。（→液が紫色になります）
9. 紫色が消え透明になるまで滴定を続け、紫色が消えたところが滴定終了となります。このとき、再度液面の読みを記録してください。…［ b ］ml
10. 塩素濃度を計算します。

（ b － a ）X 1.77 ＝ **ピュアスター水の有効塩素濃度** ［mg/kg］

12. ご使用にあたって

●ご使用の際には、お客様で以下の確認をお願いします。

①外観に変形などの異常がないことを確認してください。（点検目安：都度）

②運転中に通常と違う音がしないことを確認してください。（点検目安：都度）

③電源プラグに緩み又は、電線切れがないことを確認してください。（点検目安：約 1 ヶ月。ただし設置環境により大きく変わることがあります。

④アース線が取り付けてあることを確認してください。（点検目安：約 1 ヶ月。ただし設置環境により大きく変わることがあります。）

⑤ファンフィルターに埃等が詰まっていないか確認してください。（点検目安：約半年毎。ただし設置環境により大きく変わることがあります。）

⑥給水口フレキホースの接続部、吐出フレキホースの緩み、外れなどがないか確認してください。（点検目安：約半年毎。ただし使用状況により大きく変わることがあります。

⑦チューブポンプ（チューブ）【Pharmed チューブ 内径 3.2mm】は経時により消耗します。1 年に一度、交換してください。

⑧電解槽は 3 年に一度、交換してください。（電解槽の寿命（目安）は 4000 時間ですが、経時によっても寿命が短くなります。目安時間に達していなくても 3 年で交換してください。）

⑨①～⑥があった場合は、すみやかに装置を停止して販売店にご連絡してください。

⑩修理、故障対応は販売店に連絡してください。

13. 仕様

	項　　目			PURESTER μ-Clean ピュアスター ミュークリーン
機器仕様	型　　式			R M T
	電　　源			AC 100V 50/60Hz
	消 費 電 力		[W]	150 50/60Hz
	本 体 寸 法		[mm]	W 412 × D 176 × H 385
	本 体 重 量		[kg]	約 6（薬液容器は含まず）
	ピュアスター水生成量※1		[L/hr]	300 ±10%（供給圧 0.1MPa 時） 300 ±15%（供給圧 0.1 ～ 0.5MPa 時）
	装 置 外 装			プラスチック（ABS）
	ミュークリーンメイト使用量※2		[mL/hr]	１００（標準）
	ミュークリーンメイト塩酸濃度		[%]	6
電解機能	ﾋﾟｭｱｽﾀｰ水	有効塩素濃度	[mg/kg]	１０～３０（標準）※3
		pH		5.0 ～ 6.5（標準）※3
	電極	電極材質		白金系
		電極寿命	[hr]	４０００（標準）※4
その他	操作	スイッチ		モーションセンサー
		リモート※5		リモート操作機能有り、一括警報出力有り
	パネル	表示		電源、運転、過電流、薬液供給エラー、薬液なし、水なし
	水圧範囲	給水圧	[MPa]	0.1 以上、0.5 未満
		ﾋﾟｭｱｽﾀｰ水出口圧	[MPa]	0.03 以下
	接 続 口	給水口 (IN)		G1／2″ メネジ
	使用環境	気温	[℃]	10 ～ 35
		湿度	[%]	85 以下（ただし結露しない事）

※1　リモート仕様の場合、ご使用条件により生成量が変わる事がありますのでご了承ください。詳細につきましては、販売店にご相談ください。

※2　ご使用条件により調整範囲等に多少の差異が生じますのでご了承ください。特に塩酸使用量に関しましては、水質により変わる事があります。

※3　ご使用条件により変わる事があります。

※4　ご使用条件により変わる事があります。また、経時により寿命が短くなることがあります。

※5　詳細につきましては、販売店にご相談ください。

重　要

●原水は、水道水「水道法（昭和 32 年法律第 177 号）第 4 条第 2 項の規定に基く「水質基準に関する省令」（平成 15 年厚生労働省第 101 号）に適合」または、飲料水基準を満たした井戸水等をご使用ください。原水の pH、硬度によっては規定の電解水水質から外れる場合があります。

MEMO

MEMO

14. アフターサービス

●購入先の販売店まで、お申し付けください。

MEMO

発売元

morinaga

“おいしい”をデザインする

森永乳業

第二営業本部　ピュアスター営業部

〒108-0023

東京都港区芝浦 3-13-8 デイリーフーズビル 5F

TEL：03-3798-8199　FAX：03-3798-0185